

共生



小学校高学年

中学校

道徳

道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ ⌚ 15分

自分の仕事を見つけるまで

(2009年放送)

この番組の良さ



自分を生かせる仕事

東京都の介護・自立支援施設で働く新藤兼次さんは、ていねいな仕事ぶりでお年寄りや同僚から信頼されています。知的障害のある新藤さんは、自立をめざし一般の会社に就職しましたが、7年後に退職し、人生の目標を失ってしまいます。そんな新藤さんが、自分を生かせる仕事を見つけるまでのエピソードと、懸命に仕事に取り組んでいる姿を通して、あきらめないことの大切さや自分を生かせる仕事について考えることができます。

できないことを一つずつ克服する

苦手なことにあつた時、できないからあきらめるのか、できないから努力するのか大きな分かれ目です。新藤さんの生き方を通じて、つらいことから逃げず、時間がかかっても一つ一つ取り組んでいくことの大切さを学ぶことができます。

番組活用のポイント

自立をめざし、努力を続ける

私たちの生活の中で、つらいことや苦手なことなど、困難な場面に直面することは必ずあります。その時あなたならどうするでしょうか。本番組に出てくる新藤さんは、知的障害があり、新しいことを覚えたり、人とコミュニケーションをとったりすることが苦手です。しかし、新藤さんはできないことがあっても逃げ出さず、何度も挑戦します。その自立をめざし、一生懸命努力し続ける姿から、あきらめないことの大切さについて学ぶことができます。また、新藤さんを支える家族や職場の人の姿から、周囲の理解と協力することの大切さについても考えることができます。

一度覚えると決して手を抜かない

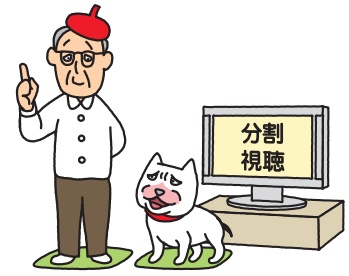
番組の中で、新藤さんは「施設の利用者が気持ちいいと思ったら、一番うれしいですね」と語っています。一度覚えたら決して手を抜かず、ていねいな仕事をする姿勢はこの言葉からもうかがえます。自分に与えられた役割をただこなすだけでなく、どのような気持ちを込めて取り組めばいいのか、周りの人の役に立ち喜ばれるためにはどうすればいいのか。このようなことを考えることで仕事にやりがいを感じたり、喜びを感じたりできます。新藤さんの仕事に対する姿勢から、生きがいについて考えることができます。

「障害」についての学習を総合単元的に

「障害」について、より理解を深めたい時は、他のティーチャーズ・ライブラリーの番組を、資料として活用すると効果的です。「障害」のある子どもたちとのかかわり方から周囲の理解と協力の大切さを考える番組『みんなでいっしょに』（P.42）などが活用できます。番組と副読本の資料を関連させ、「障害」についての学習を総合単元的に実施することで、さらに効果が期待できます。

学習展開例

授業時間 45分

できないから、あきらめる？
できないから、努力する？

時間配分	学習活動	教師の支援
8分	①自分の将来就きたい仕事について話し合う。 ②どうして仕事をするのか、話し合う。	○「みなさんは、将来どんな仕事に就きたいですか」「将来の夢はなんですか」などと問い、働くことについて、関心をもつことができるようにする。 ○どうして仕事をするのか話し合う中で、ねらいである「自立」と「生きがい」に焦点を絞っていき、番組視聴の視点になるようにする。
17分	③番組を視聴しながら、考える。  <ul style="list-style-type: none"> ・仕事についての思いを語る進藤さん  <ul style="list-style-type: none"> ・息子への思いや自立についての考えを話すお母さんの玲子さん  <ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことにも挑戦し、少しずつでも克服できるよう努力している新藤さんの様子 	○番組にひたることができるよう、メモはとらないよう指示する。 ○「仕事は大変だけど好き」（2分51秒）と語る進藤さんのインタビューの後、一時停止し、どうしてそのように感じるようになったのか、考えながら視聴するよう呼びかける。 ○「障害があってもなくても、自立はみんなしてもらいたい」（5分）の場面で「自立」という言葉を板書し、後の話し合い活動の視点になるようにする。 ○「できないことを一つずつ克服している新藤さん」というナレーターの言葉（14分40秒）を、しっかり押さえておき、次の学習活動につなげるようにする。
15分	④「できないことを一つずつ克服している新藤さん」のことをどんなふう思ったか感想を交流する。 ⑤「この仕事が好き」という新藤さんのことをどう思うか話し合う。 ⑥つらいこと、苦手なことに直面した時、自分ならどうするか考える。	○「できないから、あきらめる」のか「できないから、努力する」のか、どちらが自分の幸せや自立につながるのか、考えるよう声かけを行う。 ○「生きがい」という言葉にふれながら、出てきた考えをまとめていくようにする。
5分	⑦今日の学習のふり返りを書く。	○今日の学習で学んだことをノートなどに書く。時間があれば、ふり返りや感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。

コラム

努力を続ける尊さ

本番組を「障害」だけの学習にとどめず、困難な条件に負けずに努力を続けている尊さについて、学ぶ機会にして欲しいと思います。人は楽しいことや楽なこと、自分にとって気持ちのいいことにしかやる気を出さない傾向があります。しかし、現実はそのようではありません。好きでも嫌いでもしなければならぬことはあるし、しんどくてもふんばらなくてはいけないことはいくらでもあります。自分の本当にしたい仕事や生きがいを考え、努力を続けている新藤さんの姿からそのことをしっかり学んで欲しいと思います。